

## 写真の整備について

### 1 写真の整理及び処理

- (1) 写真の大きさはサービスサイズとする。
- (2) 天災または出水の際は、被災の状況及び出水の状況を撮影記録しておくこと。

### 2 提出用写真の添付方法について

- (1) 台紙の大きさはA4判とする。
- (2) 表紙には次の事項を記入する。建設工事名、工事ヶ所、着手、竣工年月日、施工者名
- (3) 写真の添付は最初着手前写真を、次に竣工写真を添付し、対照し得るように整理すること。工事中の写真は各工種について施工の進捗に応じ代表的な各出来形（床掘、基礎、胴込、裏込、法長、型枠、組立、配筋及び型枠取外し後の出来上りの形状、寸法）を添付すること。

### 3 各工程の撮影について

#### (1) 一般的事項

各出来形の撮影に当たっては床掘の深さ、幅、基礎工の厚さ、幅、胴込、裏込厚及び型枠の取外し後の出来上り寸法が明確に判定できるよう箱尺などをあて、建設工事名、工種、撮影年月日、位置、設計略図及び寸法等を記入した小黒板を置き、図（例1）のように撮影すること。

#### (2) 工事着手前及び工事竣工写真

全景を原則とし、できるだけ4方向の同一位置から撮影すること（立木、電柱、家屋等の対象物を入れ撮影すれば対象が容易）

#### (3) 床掘

図（例2）のように撮影すること。

#### (4) 石積及び擁壁

延長40mに1ヶ所程度の割合で基礎の工法、裏込厚、構造物の幅、高さ（法長）等を撮影する。図（例3）の様に構造物の幅は法面に直角又は水平に、法長及び高さは埋戻面より上で中間点まで撮影すること。

#### (5) 管工

断面形状と全景が判明できるように撮影すること。

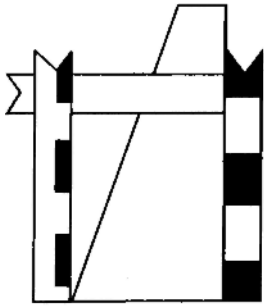
#### (6) 電工

水中に没するものの詰石の大きさ、形状寸法等を撮影すること。

#### (7) 橋台、橋脚工

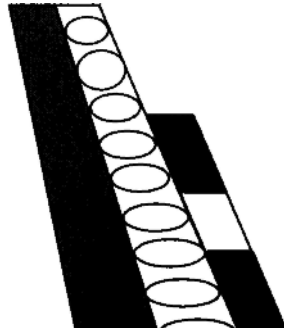
水中に没する部分の形状寸法、配筋状況は必ず撮影すること。

黒板



ボルト埋込又は  
ペンキ（白色等）で  
明確にしておく事

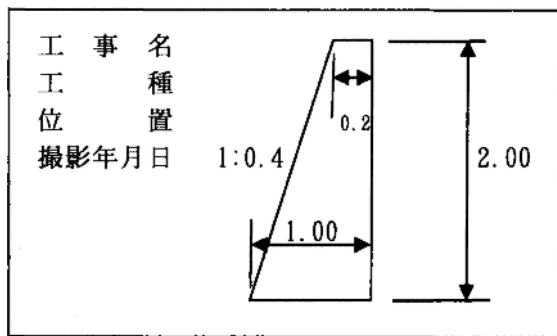
黒板



例2 床堀状況



例1 黒板記載事項



例3 丁張施工状況

